

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2017. vol. **14**  
Take Free

# ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

オレたちの  
八幡平  
アウトドア

- 09 酒と器と料理と
- 10 八幡平に生きる人
- 12 八幡平再発見
- 13 アウトドアのあとは
- 14 ハチクラ通信
- 16 ビッキーと行く八幡平

# オレたちの 八幡平 アウトドア

澄んだ空気に包まれたブナ林、  
くつきりと浮かぶ山の稜線、  
途中には個性的な温泉や産直、  
ジェラートショップ。  
八幡平市でのアウトドアには、  
日常の疲れを癒してくれるものが  
たくさんある。

歩いて、走ったあとに  
得られる爽快感を求めて

八幡平市には、自然をフィールドにして、アウトドアライフを満喫している人たちがいる。今回は、その中からトレッキング、サイクリング、トレイルランニング（トレラン）を紹介。

トレッキングは登頂を目指すことを目的とする登山と異なり、頂上に行くことにこだわらない。自分の足で歩き、街なかでは味わえない自然を感じながらの山歩きが醍醐味である。エンジンの力を借りず、自分の力で遠くまで行くのは、サイクリングもトレランも同様。自転車で坂道を登るのも、登山道走るのも体力的にしんどいが、達成したときの爽快感はひとしおだ。

岩手山の山開きを終え、緑が美しい季節となった。アウトドア後の立ち寄りスポットも充実している八幡平市で、すてきなアウトドアライフを始めよう。

心地よい場所を見つけて昼ごはん。大きなおにぎりに思わずの喜び。

母なるブナの木を  
目指して歩く

田中電気商会の田中耕一さんと  
(株)村木商店の村木洋志さんは、  
山仲間。春の山開きを待って八幡  
平市商工会青年部のメンバーも  
誘って、休日になると登山やト  
レッキングを楽しむ。

この日は、安比高原のブナ林へ  
トレッキング。ぶなの駅から中の  
まきばを通り西森山へ。幹に巻か  
れたピンク色のテープを目印に歩  
いていくと、ブナの原生林に入る。  
枝の間から陽光が差し込み、「明」  
と「暗」のコントラストが生ま  
れ、自然の神秘が感じられる。山  
岳ガイドも務める田中さん。道中、  
ブナや山野草に関するうんちくが  
次々と出る。

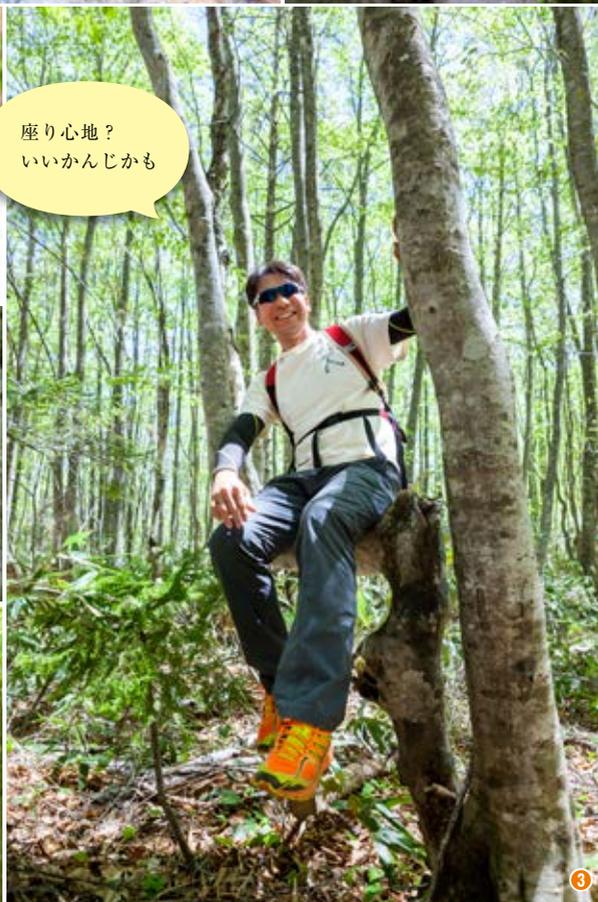
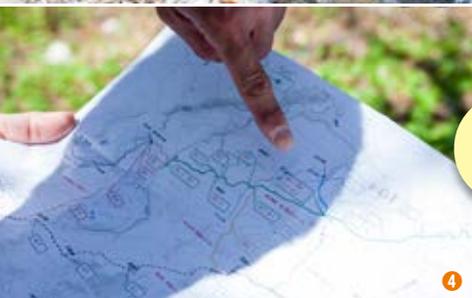
「トレッキングは気分転換にも  
なりますね」と村木さん。「歩き  
ながら話すのは、たわいのないこ  
とばかり」と笑う。それがリフ  
レッシュとなり、明日の活力につ  
ながるのかもしれない。

安比高原  
トレッキング  
原生林の歴史、自然の神秘を感じる

田中耕一さん・村木洋志さん



中のまきばからアスナ沢へ向かう途中、大きな樹洞を持つ巨木が。大人が入っても余裕のある洞の中から空に向かってシャッターを切る。



① 幹に一直線に亀裂が入ったブナ。凍裂といわれる現象で、冬期に気温がマイナス25度以下になると、幹の中の水分が凍結し幹が割れてしまうことからできる。② 沢を渡る田中耕一さん。飛び石を利用して対岸へ。③ 西森山のブナ原生林で、椅子のような木を見つける。「座れるかな」と村木洋志さん。④ 散策道には標識が設置されているが、マップも確認。「今日は、中のまきばからアスナ沢、安比高原ブナの二次林を目指そう」⑤ ブナの古木に生えたサルノコシカケ。「小さいからサルじゃなくて、カブトムシのこしかけた」と笑う。⑥ 安比高原ブナの二次林にあるグランドマザーツリー。ゴツゴツとした凹凸に歴史を感じる。根元には、ブナの若木がみられ、自然の成り立ちが感じられる。



八幡平市内を走っていると、さまざまな岩手山の山容が見られる。  
お気に入りのスポットを見つけよう。



万が一の時のため、修理道具は必携。



このパン、  
おいしやう

「松ちゃん市場」でひと休み。  
松ちゃん市場には、地元野菜  
や山菜のほか、パンやだんご  
なども置いている。  
■八幡平市松尾寄木2-512  
TEL 0195-78-3002



岩手山麓に広がる「岩手県民の森」。ブナやミズナラの林、カラマツやトドマツの人工林などがある。ニホンカモシカやアカゲラなどの動物も生息している。  
■八幡平市松尾寄木1-515-5 TEL 0195-78-2092



今度の休日は /  
ドライブにもおすすめ  
八幡平満喫サイクリングルート

道の駅にしね ← 約6km  
岩手山焼走り熔岩流 ← 約8km  
岩手県民の森 ← 約9.6km  
松尾八幡平 ← 約33km  
松ちゃん市場 ← 約8.7km  
ノレグレット ← 約10km  
道の駅にしね



焼走り熔岩流から岩手県民の森へと続く  
岩手山パノラマラインは、サイクリングに  
おすすめのルート。

サイクリング 岩手山パノラマライン

## 岩手山麓を走り抜ける快感

遠藤竹幸さん

寄り道しながらの  
山麓ロードを楽しむ

遠藤武商店の遠藤竹幸さんがサイクリングを始めたのは20代のころ。「街乗り用の自転車を買に行ったはずが、ロード用を買っていた」と苦笑する。

八幡平市は、サイクリングに最適なエリアだという。

「岩手山焼走り熔岩流から松尾八幡平ビジターセンター前を通過して、平館へ抜けるコースがおすすめ。岩手山を見ながらのコースですね。時間に余裕があれば、安比高原まで足を延ばしてもいいでしょう」と話す。

このコースは途中、牧歌的な風景を走ったり、並木道を抜けたりする。鳥のさえずりも聴こえてくる。「一番の醍醐味は風を感じられること」と遠藤さん。自動車では見逃していたことも自転車なら気がつくことも多いという。小さな風景を探すサイクリングもいいかもしれない。

## 野山を思いっきり 駆け巡るおもしろさ

トレイルランニング(トレラン)は、登山道を走るスポーツ。八幡平市役所に勤める高橋伸也さんは業務終了後、毎日のようにトレランの練習をする。

「僕はマラソンもするので、そのトレーニングも兼ねています。トレランはマラソンと違い、走ったり歩いたりと自分のペースで走れるのがいいです」

おすすめは七時雨山周辺。

「七時雨山はゴール地点の風景が開けているのがいい。振り返ると、走ってきた稜線が見える。それがたまらないですね」



トレランは、スポーツドリンクや携帯電話など最小限の装備で走る。「大会によっては雨具も持ってという場合もあります」と高橋伸也さん。

## トレイルランニング 七時雨山

## 五感で自然を感じるランニング

高橋伸也さん



七時雨山麓を走る。「七時雨山荘」の近くには白樺林、その先に牧草が広がり、牧歌的な風景が広がる。

## 酒と器と料理と

八幡平のつくり手たち

小暑

「竹葉」と書いて「ささ」と読む。日本酒の別名であるが、夏を感じさせる。まるで竹林を抜ける風のようなさわやかな味がする酒には、手のひらに収まる「ひめ小鉢」が似合う。酒肴には、「夏野菜のソテーバルサミコソース添え」を。バルサミコの濃厚なソースが、純米酒の旨味を引き立てる。まさに夏の取り合わせである。

(株)わしの尾 純米生貯蔵酒「竹葉」(夏期限定・1,320円・税別)  
八幡平市大更22-158 TEL 0195-76-3211

安比塗漆器工房 ひめ小鉢(5,940円・税込)  
八幡平市畠田230-1 TEL 0195-63-1065

全5室の小さな宿「Beaver」夏野菜のソテーバルサミコソース添え  
八幡平市松尾寄木1-505-203 TEL 0195-78-2118

八幡平には、いろんな人がいて、いろんなことを考えている。共通するのは、「こつて、いまちだよね」。暮らしてこそわかる、八幡平の魅力とは――。



(一社)八幡平市観光協会専務理事  
高橋時夫さん

高橋時夫さんは、毎年2月～3月に三ツ石山、4月に七ツ雨山、その後に岩手山に登る。「どの山にも思い入れがあり、好きな山が選べない」とか。

西根町・松尾村・安代町が合併し、八幡平市が誕生して12年になる。八幡平市観光協会専務理事を務める高橋時夫さんは、「合併によって、岩手山から八幡平、安比高原まで続く50キロの山並みとロケーションを観光のバックボーンとして活かせるようになった」と話す。

そして、発足したのが「岩手山・八幡平・安比高原50kmトレイル協議会」である。

50kmトレイルの途中には、日本百名山(岩手山・八幡平)が2座あり、名湯と名高い松川温泉と東北一標高が高い藤七温泉もある。山岳観光に必要なものがそろっているという。

「山には、上級・中級・ハイキングの3つのグレードがある」と高橋さんはいう。

「50kmトレイルには、その3つがそろっています。家族連れで楽しむなら八幡平や安比高原ブナの二次林をハイキング、それでは物足りない人はコマクサや

リンドウが咲く稜線を歩いたり、体力のある人は岩手山へ登ったり、山小屋に泊まりながら一気に50キロを走破したりと、目的やレベルに応じて、さまざまな楽しみ方ができるのです」

また、登山者をサポートするガイドや山岳救助隊もいる。

高橋さんが本格的に山登りを始めたのは中学時代。それから半世紀以上にわたり山と関わってきた。その中で大切にしているのは、「安全に楽しむこと」。

「体調とモチベーションは大変。調子が悪いときに山へ行くと、ケガをしやすくなる。山は非日常です。それを楽しむためには、大切なことだと思います」

7月1日に岩手山山開きが行われ、トレイルに最適な季節を迎えた。「山高きが故に貴からず」という言葉がある。高いだけが魅力ではなく、それぞれに良さがあるという意味もある。その魅力を堪能したいと思わせてくれた高橋さんだった。

## 非日常感を味わえる 八幡平市の50kmトレイル



[上] 八幡平市内の山の魅力を堪能できるのが「岩手山・八幡平・安比高原50kmトレイル」。

[下] 八幡平市観光協会が入っている「松尾八幡平ビジターセンター」では、八幡平の自然を学べる。

### profile

#### たかはし ときお

1948年(昭和23)、八幡平市(旧西根町)出身。県立盛岡短期大学法経科卒業。現在、(一社)八幡平市観光協会専務理事をはじめ、岩手県山岳協会会長、岩手山・八幡平・安比高原50kmトレイル協議会会長、(公社)日本山岳スポーツライミング協会副会長などを務める。

# アウトドアのあとは

登山や散策を終えて、そのまま帰るなんてもったいない。アウトドアの楽しみ方がもっと広がる立ち寄りスポットを紹介。

CACB  
2



## 八幡平山頂レストハウス 軽食コーナー

八幡平山頂を散策したあとは、レストハウスで「源太カレー(850円・税込)」はいかが。煮込んだ牛すじとスパイシーなカレールウが特徴。

- 八幡平市八幡平山頂
- TEL 0195-78-3500
- ((一社)八幡平市観光協会)
- 営業時間/10:00~16:00
- (食事15:00LO・飲物15:30LO)
- 定休日/11月上旬~4月中旬

CACB  
1



## 松川温泉峽雲荘

疲れを癒す乳白色の湯は源泉掛け流し。天風呂から眺める木々の緑、鳥の声、川のせせらぎも心地よい。日本秘湯を守る宿となっている。

- 八幡平市松尾寄木松川温泉
- TEL 0195-78-2256
- 日帰り入浴時間/8:00~20:00
- 日帰り入浴料金/大人500円、5歳~小学生250円(税込)
- 定休日/無休

CACB  
4



## 岩手山銀河ステーション天文台

500ミリ反射望遠鏡などを3基の天文台望遠鏡備えている。岩手県内各地で撮影した星空写真など、天体に関する資料や展示も豊富。夏休みの自由研究にもおすすめ。

- 八幡平市平笠24-728
- 岩手山焼走り国際交流村
- TEL 0195-76-2013
- 開館期間/5月~10月の土曜・祝前日(特別開館日あり)
- 開館時間/19:00~21:00(雨天休館)
- 入館料/大人300円、小学生150円(税込)
- ※開館・休館については、来館当日に要問い合わせ

CACB  
3



## 七時雨山荘 茶居花

七時雨山の麓にあり、周囲に牧草地が広がる。のどかな雰囲気が漂うなかでの「コーヒー(450円・税込)」は格別。軽食もあり。

- 八幡平市古屋敷96
- TEL 0195-72-2103
- 営業時間/9:00~17:00(変動あり)
- 定休日/11月上旬~4月下旬(降雪時)

# 八幡平 再発見

第1回

rediscovery

hachimantai



車之走峠から七時雨一里塚の間にある「お七地蔵」。旅の途中で亡くなった女性を供養するために建立された地藏菩薩。地元では「地藏長根」とも呼ばれている。画像提供/西根歴史民俗資料館

## 鹿角街道

藩政時代の一里塚が現存  
昔の旅人になりきって歩く

江戸時代に南部藩によって整備された「鹿角街道」。盛岡市から八幡平市、秋田県鹿角市を経て、大館市に至るルートである。当時、「流霞道」ともいわれ、白根・立石・尾去沢鉾山などの鉱物資源、塩や穀物などを運ぶ道として、重要な役割を果たしていたという。

八幡平市内には当時の街道がそのまま残り、実際に歩くことができる場所がある。寺田から七時雨山西麓を抜け、高畑に至る約6キロの道である。鹿角街道のガイドを務める畠山城司さんによると、この道中に鹿角街道の最大の難所があったという。

「七時雨山の冬は厳しく、遭難して亡くなる旅人もいました。『お七地蔵』は旅の途中でなくなった女性を供養したものです」

マダの木の根元にひっそりとたたずむお七地蔵のほか、樹齢300年以上といわれるシナノキの古木が並ぶ「マダ並木道」「七時雨一里塚」など、歴史を感じる場所が、いまでも残っている。

ハチクラ vol.14  
読者アンケート

今号の「ハチクラ」はいかがでしたか？  
今後、充実した内容にするため、  
皆さまの声をお聞かせください。

プレゼント

本ページのアンケートに回答して下さった方に  
抽選でプレゼント！ふるって応募してください。

問1

「ハチクラ」をどこで入手しましたか？

問2

本誌を入手した動機は何ですか？（複数回答可）

- 1 表紙に惹かれたから
- 2 内容がおもしろそうだから
- 3 八幡平市の観光に興味があったから
- 4 地元の情報を知りたかったから
- 5 無料だったから

問3

今号の記事でおもしろかったものを挙げてください  
（複数回答可）

- 1 特集「オレたちの八幡平アウトドア」
- 2 酒と器と料理と
- 3 八幡平に生きる人
- 4 八幡平再発見！
- 5 アウトドアのあとは
- 6 ハチクラ通信（読者の声・プレゼント）
- 7 ビッキーと行く八幡平

問4

「ハチクラ」へのご感想・ご意見をお書きください

1

わしの尾  
純米生貯蔵酒  
「竹葉」



2名様

2

松川温泉  
峡雲荘  
温泉入浴券



ペア5組様

※温泉券有効期限／2017年9月2日(土)～9月30日(土)

読者の声

ハチクラ13号に寄せられた  
読者からのコメントを紹介。

●若いころ、毎週のように安比高原、  
下倉へとスキーに出かけていました。  
特集の「スキー場でブレイクタイム」  
を見て、当時を思い出しました。来季  
はスキーに再挑戦しようかな。(A・K)

●いつも「道の駅にしね」で入手して  
います。表紙も各ページのづくりもす  
てきで、読むとその店やスポットへ出  
かけたくなります。次号も楽しみにし  
ています。(Y・T)

●初めて手にしました。食べ物、見ど  
ころ、温泉など、八幡平市の良さを知  
り、これまで八幡平市をただ通り過ぎ  
ていたのがもったいなかったと後悔  
しています。(T・S)

●盛岡市在住です。岩手県北方面は  
さびしい印象があり、足が向きませ  
んでした。しかし、「ハチクラ」を  
読んでイメージが変わりました！  
楽しそうなスポットがけっこうある  
んですね。(M・K)

「ハチクラ」撮影  
こぼれ話



「あずみの湯」で立ち寄りランチ。注文  
したのは、「ジャンボチキンカツ定食」。  
鶏むね肉を250グラムも使用した、料  
理人こだわりの一品です。(T・K)

●八幡平市民ですが、いままで地元を  
紹介するとき「何もないところ」と  
言っていました。これからは「八幡  
平にはすてきなものがたくさんある  
よ！」と胸を張って言います。それを  
教えてくださいました。(M・K)

●毎回、ビッキーに癒されています。  
喫茶店のねこもかわいい。(K・E)

●「八幡平に生きる人」はいいです  
ね。バックナンバーも読んでみたい  
と思います。(T・K)

Just listen!

次号のハチクラvol.15は  
平成29年10月5日発行予定

八幡平をもっと  
楽しむためのフリーマガジン **ハチクラ**

2017.Vol.14 平成29年7月5日発行

企画・発行 八幡平市商工会  
岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040  
http://www.shokokai.com/hachimantai/

「ハチクラ」に関する問い合わせ  
八幡平市商工会安代支所 TEL 0195-63-1001  
印刷所 川口印刷工業株式会社

■本誌に掲載している情報は、平成29年6月20日現在  
のもの。発行後のデータ等が変更になっている  
場合があります。あらかじめご了承ください。  
■本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

プレゼント & アンケートの送り先

官製はがきに以下のことを記入し、ご応募ください。  
FAXでも応募OK！

- ① ご希望のプレゼント番号
- ② アンケートの回答
- ③ 住所・氏名・年齢・電話番号

■ 送り先  
〒028-7533 岩手県八幡平市叭田70  
八幡平市商工会安代支所「ハチクラ」係  
FAX 0195-63-1011

■ 応募締切  
平成29年8月25日(金)当日消印有効

当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。  
今回ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護  
方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三  
者に開示することはありません。

back number

バックナンバーのご案内

「ハチクラ」バックナンバーのお求めは……  
下記までご連絡ください。  
送料のご負担をお願いいたします。

連絡先

八幡平市商工会安代支所  
TEL 0195-63-1001  
(受付時間／平日9:00～17:00)



hachikura web

「ハチクラweb」公開中!

八幡平の暮らし、食などの情報を発信する「ハチ  
クラweb」を公開中！フリーマガジン「ハチク  
ラ」の取材中のこぼれ話も掲載しています。あわ  
せてご覧ください。

<https://www.facebook.com/hachikuraweb/>

「ハチクラ」は、  
八幡平市商工会ホームページでもご覧いただけます。

# ビッキーと行く八幡平

## 「山走りの思い出」

撮影地／七時雨



# 八幡平

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン 2017. Vol.14 平成29年7月5日発行 発行：八幡平市商工会



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大揚沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。

撮影  
三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

6月に開催された「七時雨マウンテントレイルフェス」。日本中から集まった500人のトレイルランナーが激走した舞台を訪れたビッキー。眼前に広がる七時雨山、岩手山の絶景を眺め、過酷ながらも楽しいレースに思いを馳せました。

Take Free